

を踏まえ、広報こしがや等で注意喚起、全国火災予防運動で啓発活動を展開している。また、ヤードを含め事業者に対しても効果的な注意喚起の方策について検討していきたい。

民生 分科会

令和8年度越谷市一般会計予算について

問 外国人相談窓口の利用実績は。また、外国人市民向け生活オリエンテーションの内容は。さらに、窓口の拡充や周知は。

答 令和8年2月28日までの利用実績は、市民活動支援課に282件、市民活動支援センターに77件であった。また、ゴミ出しルールなどのオリエンテーションに加え、バスツアーを実施した。現在、窓口拡充の予定はないが、越谷駅前でも土日も開庁している市民活動支援センターの周知を図りたい。

問 ねりんピック埼玉大会の周知方法は。また、経済波及効果の見込みは。

答 啓発グッズの製作のほか1年前イベントに市のブースを出展した。また、経済波及効果について、先催県では全体で約100億円の効果があり、選手の購買意欲も高いと伺っている。特産品の販売やキッチンカーの出店などによる経済波及効果を期待している。



ねりんピックの啓発グッズ

問 猫の不妊・去勢手術費用補助金の申請方法は。また、飼い主のいない猫について、相談があった際の対応は。

答 本補助金は、動物病院での手術後に申請者から領収書等を提出いただき、雌猫9000円、雄猫7000円を上限に振込を行っている。また、相談があった場合には捕獲器の貸し出しのほか、市動物愛護推進員に協力いただき、捕獲や不妊・去勢手術を行っている。

令和8年度越谷市介護保険特別会計予算について

問 介護認定審査会システムの導入による効果は。また、導入のスケジュールは。

答 オンライン化により、審査委員の移動等の負担の軽減、また、ペーパーレス化により、資料の印刷費、郵送費、郵送事務などの削減が見込まれる。導入にあたっては、タブレット端末を主に審査委員分として100台、年末を目途に用意する予定である。

環境経済・建設 分科会

令和7年度越谷市一般会計補正予算(第9号)について

問 橋りょう施設維持管理費および橋りょう耐震化整備事業の減額の影響は。

答 国庫補助金の交付額縮小を受け減額している。補修工事の進捗に影響はあるが、市債を活用し整備をしている。耐震化は緊急輸送道路を優先整備しているが、橋りょう設置時に一定の耐震基準を満たしていることから、国の補助金を活用して事業を進めたい。

令和8年度越谷市一般会計予算について

問 田んぼダム推進事業の方向性と、効果の

実証は。また、治水事業とのつながりは。

答 本事業は、技術的な課題や、耕作者の協力を得るためのメリットが必要という観点で、ICTを活用したスマート田んぼダムを検討する。効果は、貯留機能のほか水管理の自動化や省力化が期待できる。また、中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクトに田んぼダムが挙げられており、治水対策、農業者支援の視点で事業を進めていきたい。

問 つばきの垣根といった街路樹のせんてい基準は。また、刈込作業終了後の対応は。

答 街路樹等管理委託により、60センチから80センチを基準に、年1回刈込等を行っている。また、刈込後の作業報告は、職員の立ち会いや写真提出に加え、測量機器を用いた刈込前後の写真提出の試みを始めている。



街路樹のせんてい作業

問 市営住宅再整備事業における他の整備手法の検討は。また、再整備イメージにおける多目的スペースのデザインは。

答 本事業は、旧耐震基準で建設された弥十郎地域の3団地の集約建替えを行うもので、空き家等の活用、民間借上げ住宅等も検討したが、整備基準への適合等の課題もあり、集約建替えが最もスピード感があり適切と考える。また、多目的スペースは、避難場所や近隣に幼稚園等があることなども考慮し、住民との交流が図れる場所など、多様なアイデアを取り入れながら整備を進めていきたい。

子ども・教育 分科会

令和8年度越谷市一般会計予算について

問 夏休み子ども居場所づくり事業における改善点は。また、現時点での応募状況は。

答 地区センターや児童館では9時から17時までだが、越谷コミュニティセンターでは7時半から19時までの預かりとしており、利便性と利用率の向上につながると考えている。また、令和8年3月9日時点で、南越谷地区センターが7名、児童館ヒマワリが11名、越谷コミュニティセンターが36名の申し込みがあり、定員に満たない場合は対象を拡大して再度募集を行いたいと考えている。

問 スペシャルサポートルーム未設置校における対応方法は。また、オンラインおあしすとの連携の考えは。

答 令和8年度は新たに小学校5校に増設し、計15校に設置することとなる。まだ設置されていない学校においては、転用可能教室等を活用するなど、工夫しながら対応を行っている。また、オンラインおあしすとの連携については、学校に足が向かない子どもたちが教育支援教室おあしすやオンラインおあしすを活用し、自信や意欲を高めて学校に戻れるよう連携を取りながら取り組みたい。

問 文化財保存謝礼の予算額が昨年度より増額している理由は。

答 文化財保存謝礼の単価については、平成7年から改定していなかったが、当時の単価のままでは、制度趣旨に照らした謝礼の意味

合いが弱くなっていることから、単価を一律2倍とする見直しを行った。また、新たに指定された越ヶ谷秋まつりへの謝礼を加えた結果、増額となったものである。

全体会において、以下のとおり討論がありました。

令和8年度越谷市国民健康保険特別会計予算について…反対討論1件

令和8年度越谷市公共下水道事業会計予算について…反対討論1件

各議案の概要は右記QRコードからご覧いただけます。



第5次総合振興計画後期基本計画の調査

質疑のあった事項について主な質疑と答弁を掲載しています。

QRコードを読み取ると、委員会の録画映像をご覧いただけます。



なお、第5次総合振興計画後期基本計画調査特別委員会は、令和8年2月24日に閉会しました。

令和8年2月6日に開催された委員会では、パブリックコメントの内容とその対応等について説明を聴取の後、質疑を行いました。

問 Liqlidの参加人数と年代は。また、実施した感想は。

答 133人の登録と112件の投稿があった。30代、50代、40代の順で多く、若年層や懇談会等に参加できなかった方々のご意見をいただき、有意義だったと考えている。

問 財政状況に関する意見が多く寄せられたことに対する捉え方は。

答 市民の懸念を真摯に受け止め、限られた資源を効果的・効率的に活用しながら計画を推進したい。

問 市立病院に関する「建替え」の文言が「施設の老朽化対策」に修正された意図は。また、表現を修正する考えは。

答 建替え資金の確保が難しい中で、従前の記載は「建替えありき」で伝わりやすかったため修正した。選択肢の一つに建替えも含まれ、より適切な表現は今一度検討したい。

問 パブリックコメントの実施後に、アリーナ整備に関する記述を追加することの妥当性は。また、市の支援が決定したという誤解を与えない表現とする考えは。

答 クラブ側で事業計画の検討などが開始されたこと、12月定例会でアリーナ整備支援検討業務委託料の補正予算が承認されたことから、このタイミングが適切と判断した。また、支援が適切か否かを含めて検討する予定であり、適切な表現を今一度検討したい。

問 過去のパブリックコメントの反映状況等の分析を今後の市民参画の充実に生かしていく考えは。

答 市民参加の在り方や効果の分析は重要であり、市民の意見をどう取り入れていくかという視点を持って、業務を進めていきたい。